

注入管メンテナンス

同時注入管はモルタルを通すため、必ず少しずつモルタル閉塞を起こします。そこで、定期的にミキシング部を取り出してメンテナンスを行ってください。



メンテナンス窓



流入管取り出し



ミキシングノズル取り出し



ミキシングノズルメンテナンス

注入管閉塞解除ツール



万ー注入管が閉塞した場合には、カンツールを用いて閉塞を解除することができます。

お問い合わせ先（国内）

<http://www.tac-co.com>

＜本社＞	〒709-0223	岡山県備前市吉永町南方 1073 番地
	TEL 0869-84-2069	FAX 0869-84-3288
＜テクノセンター＞	〒709-0212	岡山県備前市吉永町神根本 56 番地
	TEL 0869-84-2523	FAX 0869-84-2578
＜大阪営業所＞	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 7 丁目 8 番 17 号 花原第 5 ビル 201 号
	TEL 06-6304-7910	FAX 06-6304-1045
＜東京事務所＞	〒170-0013	東京都豊島区東池袋 3 丁目 9 番 10 号 池袋 FN ビル 1F
	TEL 03-5927-1489	FAX 03-5927-1490

先端混合同時注入管

詰まりにくく、メンテナンスが容易

シールド工事において地盤沈下を防ぐためには裏込注入工は重要な工種です。この裏込注入工は通常セグメント注入口から施工することが多いのですが、テールボイド発生と同時に進行同時注入方式は裏込注入効果を飛躍的に高めます。同時注入方式とは、シールド機上外部に同時注入管を設置し、シールド機が掘削開始しテールボイドが発生すると同時に裏込注入を行う方式です。この方式はとても注入効果が高いと考えられているものの、

①シールド機外周に突起物ができる。

②同時注入管は詰まりやすく、メンテナンスが難しい。

といった問題点があるため、採用に躊躇されることが多くありました。

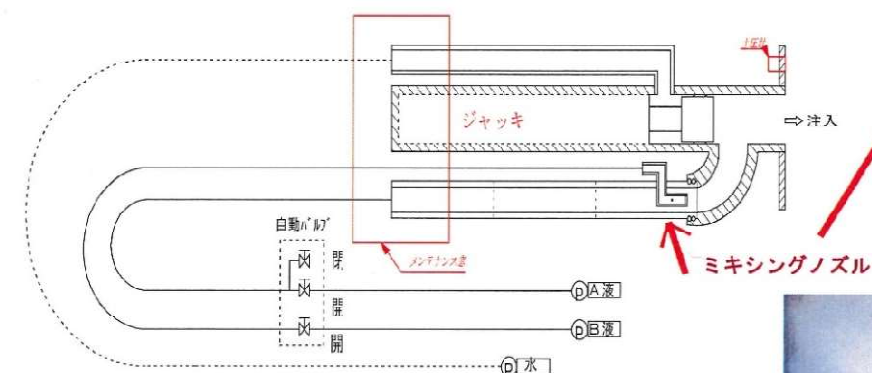
先端混合同時注入管は、2液混合するミキシングノズルを注入管先端部に内蔵するため、注入管閉塞トラブルは革命的に改善されました。また、このミキシングノズルのメンテナンスも容易で、突起の高さも極めて低く抑えたプッシャー式注入管です。

MP-6型

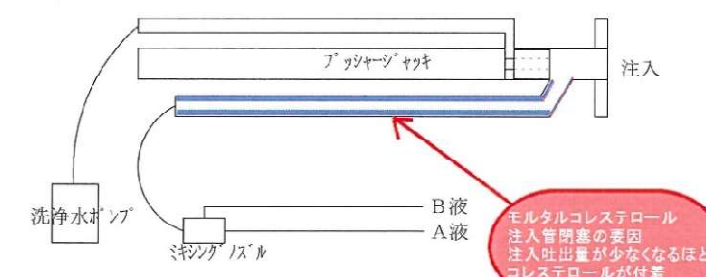


注入管全体

MP-6型注入管概念図



従来型注入管の問題点

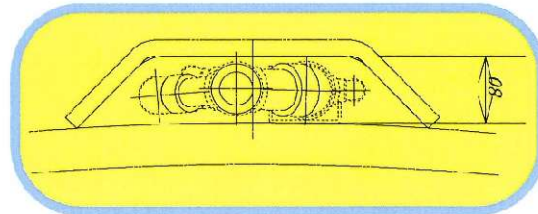


シールド機後部
水吐出テスト

株式会社 **タック**
〒709-0223 岡山県備前市吉永町南方1073
TEL 0869-84-2069
FAX 0869-84-3288

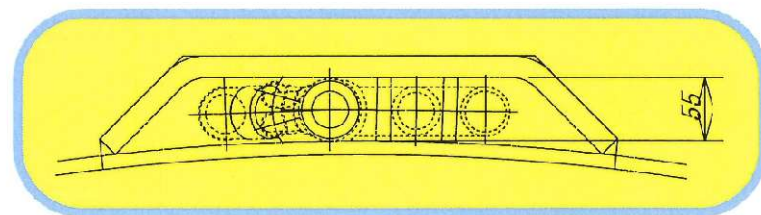
進化する先端混合注入管

MP-6型(標準・1液2液兼用型) 第3世代



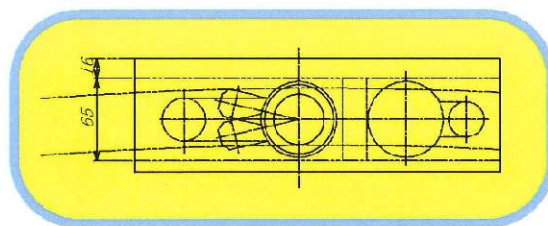
注入管本体高	80mm
流入管内径	40mm

MP-8型(低突起・2液専用型) 第3.5世代



注入管本体高	55mm
流入管内径	32mm

MP-9型(低突起・1液2液兼用型) 第4世代



注入管本体高	65mm
流入管内径	40mm

先端土圧計設置

実裏込注入圧を感知

